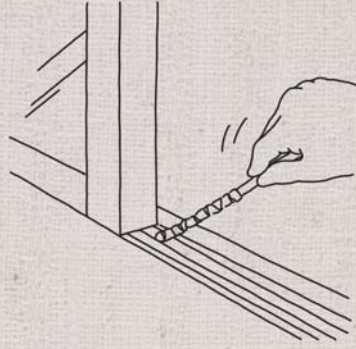


# 「そろそろ、ですよ！」

季節を安心して楽しむメンテナンス情報を  
マリモコミュニティからお届けします。



## 黄砂や花粉： ホコリっぽさが気になる季節は 窓掃除をちよつと丁寧

窓は部屋の第一印象を決める、大切なポイント。風が強くとホコリっぽい季節ほど、すつきりとピカピカに磨きあげておきたいものです。

ガラスはからぶき仕上げ窓の内側には皮脂や油がついているので、ガラス用洗剤を使うのがおすす。窓ガラスに洗剤をスプレーして汚れをふき、さらさらからぶきで洗剤と水分を完全にとり除きましょう。窓ガラスの外側の汚れは、おもに土ホコリや黄砂、花粉など。洗剤を使わなくても、雑巾で水ぶき+からぶきするだけで十分きれいにすることが出来ます。

新聞紙がお掃除グッズに！  
洗剤を使いたくない人は、新聞紙を使ったお掃除にチャレンジ

レンジ。丸めた新聞紙に水をつけ、くるくると円を描くようにガラスを磨きます。その後、同様に丸めた新聞紙でからぶきして仕上げ。新聞紙のインクが洗剤のような働きをするため、軽い汚れなら落とすことができます。サッシやレールも忘れずに窓まわりでとくに汚れがたまりやすいのが、レール部分です。まずはホコリやゴミをブラシ（古い歯ブラシなどでOK）でかき出し、掃除機で吸い取ります。その後、かたく絞った雑巾で水ぶきを。レールなどの狭い部分は、割り箸の先に雑巾を巻きつけ、輪ゴムで止めたものでこすり落とすようにしましょう。水ぶきで汚れを落とした後、からぶきで仕上げます。

## フル稼働する季節に備えて 洗濯機&乾燥機のお手入れを

洗濯機や乾燥機、きちんとメンテナンスしてありますか？ 洗濯の回数が増える季節に備えて、見えないところの汚れまですつきり取り除いておきましょう。

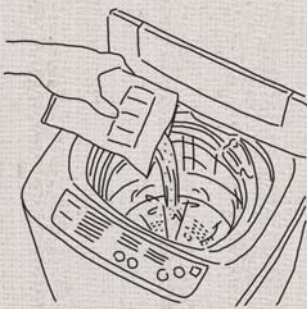
お手入れの基本は水ぶき

洗濯が終わった後、洗濯機の外側と洗濯槽をさつと水ぶきます。ふたや洗濯槽の縁など汚れがたまりやすいところは、とくに丁寧に。石けんカスやホコリがこびりついている場合は、古い歯ブラシなどでこすって落としましょう。くず取りネットや洗剤投入口など、外せるパーツはすべて外して水洗いします。ニオイやカビを防ぐため、洗濯の後は洗濯機のふたを開けて洗濯槽の内部を乾燥させておきましょう。

洗濯槽の除菌ですつきり！

カビや雑菌が繁殖しやすい洗濯槽の除菌には、専用のクリナーのほか、酸素系漂白剤を使うこともできます。洗濯槽の高水位までぬるま湯のため、1カップほどの酸素系漂白剤を加えて洗濯機を数分回します。そのまま数時間おいてから排水し、洗濯機をすすぎに「標準コース」などで洗濯機を回し、汚れを取り除きます。

乾燥機はフィルターを！  
衣類用乾燥機はフィルターを掃除しないと、乾燥時間が長くなってしまいます。フィルターを取り外し、ホコリや糸くずをブラシや掃除機などで取り除きましょう。水洗いできるものは洗い、乾かしてから取りつけます。



## 家の顔・玄関を すがすがしく

何かと人の行き来の多い、この季節。お客さまを迎える玄関は、家の顔。いつも清潔に保っておきたいものです。

下駄箱のニオイを撃退

気になるニオイの正体は、靴の中で繁殖する雑菌です。ニオイ対策の基本は、こまめな換気。換気後は、薄めた消毒用エタノールを下駄箱の中にスプレーしておきましょう。消臭効果のある炭や重曹、乾燥させたコーヒークなどを下駄箱に入れておくのもおすすめです。

たたきは掃除機+水ぶきで  
玄関のたたきは、掃除機やほうきでホコリやごみを取り除いてから水ぶきを。ぬらしてちぎった新聞紙をまき、ほうきで掃いてもOKです。

